

た

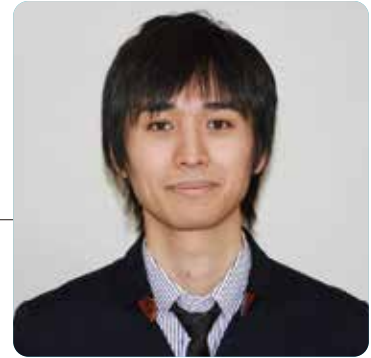
ん

ぽ

ぽ

会長挨拶

第3代会長 庄司 諒



宮城野同窓生のみなさんこんにちは会長の庄司です。私が会長に就任して早くも3年が過ぎようとしていますが、3年目にしようやく会報誌たんぽぽを発行できる運びとなりました。たんぽぽの発行は同窓会の主な活動の一つですが、執行部メンバーの就職・進学などによりなかなか発行が出来ない状態が続いていました。今後はよりスムーズに会報発行などの同窓会活動を行えるよう執行部の作業プロセス、体制などを見直していきたいと思えます。

同窓会はまだ歴史が浅く執行部の人材も不足がちですが、今回の会報発行や同窓会総会の外部会場での開催など、最近少しずつその活動を活発にさせています。来年度も引き続きこの流れを途絶えさせないようにしていきたいと考えています。もし同窓会活動に参加したいという方がいらっしゃるならば、是非私たち執行部メンバーまでご連絡ください。また、頻繁に活動できないという方も総会に出席していただくだけでもありがたいです。

今後も同窓会へのご協力をお願いします。

校長挨拶

第8代校長 齋藤 公子



宮城野高校は今年度で20周年を迎えました。同窓会はまだ充実したとは言い難いかもしれません。しかし、まだ若い学校の同窓会としてはよく活動してきたと感じています。宮城野高校ならではの同窓会の活動もあり、それは誇れるものです。これまで努力を重ねてきた役員の方々に敬意を表します。

同窓会の形に決まりはありませんが、同じ高等学校を卒業したもの同士が、年代を超えて、つながり合い、語らい、総会の場では名刺を交換するなどの光景は、社会人として活躍するようになったとき、きっと心強いものになるであろうことは想像に難くありません。

同窓会とは、同じ学舎で過ごしたもの同士だけが共有できるものを自身の中に確認し、また明日からのエネルギーに変えていく場であり、互いの社会での成長ぶりを確認し、自分自身の新たな目標を見出す場です。こうした場は得難いものであり、貴重な存在です。

宮城野高校の同窓会が一層発展し充実していくことを心から祈念いたしております。

活動報告

平成23年度は宮城野高校を会場に同窓会総会を開催し、その中で同窓会Webサイトの作成が承認されました。

平成24年4月に同窓会Webサイトが完成し、公開することができました。このWebサイトでは同窓会の活動報告や連絡事項などを掲載していきます。また、当年より文化祭への出展も行うようになりました。

※これまで活動年度と会計年度の期間が異なっていることが混乱の元になっていたため、活動年度を会計年度に統一。

平成25年度は同窓会総会を初めて外部の会場で開催しました。

平成26年度も引き続き総会を外部会場で開催しました。懇親会の内容も向上したので、是非次回の総会・懇親会に参加してみてください。また、5年ぶりに会報誌たんぼぼを発行しました。

(庄司 諒)

<p>平成22年度 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) 2/28 同窓会入会式</p>
<p>平成23年度 (平成23年4月1日～平成24年7月31日) 9/10 同窓会総会・懇親会 会場：宮城野高校 2/29 同窓会入会式 4/27 同窓会Webサイト公開 7/7 文化祭 パネル展示</p>
<p>平成24年度 (平成24年8月1日～平成25年7月31日) ※活動年度を会計年度に統一のため変更 2/28 同窓会入会式 7/20 文化祭 手形アート・衣装紹介</p>
<p>平成25年度 (平成25年8月1日～平成26年7月31日) 9/15 同窓会総会・懇親会 会場：TKPガーデンシティ仙台 2/28 同窓会入会式</p>
<p>平成26年度 (平成26年8月1日～平成27年7月31日) 10/11 同窓会総会・懇親会 会場：ホテル白萩 2月 同窓会報誌たんぼぼ第14号発行</p>



宮城野高校同窓会ホームページトップ画面

同窓会入会式

2014年2月14日。初めて17回生のホーム幹事が顔合わせを行いました。

各ホームあわせ、総勢20名。皆仲が良いようであらう。同窓会入会式の役割決めもスムーズに終えました。もともと文ボラなどで活動していた生徒が多いようで同窓会へ積極的に参加してくれるのではないかと期待を思わずしてしまいました。

そして、2月28日同窓会入会式当日。こちらの同窓会側も16回生が進行の一部を担っていて、17回生にとっても見知った顔がいることで同窓会へ親近感を感じていただけたので



17回生 ホーム幹事

ホーム	幹事氏名(★印…常任幹事)			
31H	フジモト 藤元	ミノリ 美典	3137 ミヤザワ 宮澤	ハルカ 暁
32H	セイ 清	ハルナ 春菜	3230 ナカサ 中佐	ユカ 友香
33H	★3307 オオタ 太田	アオイ 葵	3317 サトウ 佐藤	ミナ 未菜
	3321 スズキ 鈴木	イツベイ 一平	3323 タケナカ 竹中	テツタ 哲太
34H	3414 クドウ 工藤	コウキ 光騎	3427 タカハシ 高橋	チホ 千保
35H	3517 サイトウ 齊藤	シイナ 椎奈	★3520 サトウ 佐藤	ミズキ 瑞紀
36H	3601 アイザワ 相澤	リサ 梨沙	3602 アクツ 阿久津	ツバサ 飛翔
37H	3706 オカモト 岡本	リナ 莉奈	3723 スガワラ 菅原	ハツキ 葉朱紀
			3635 ミズマ 水間	シオミ 汐海
			3733 トガシ 富樫	ソノカ 苑香

○ホーム幹事発表者 3324 手塚 琴美 ○卒業記念品受領者 3602 阿久津飛翔

はないかと思えます。式自体もスムーズに進み、記念品を受け取った阿久津君やホーム幹事紹介をしてくれた手塚さんも緊張していたものの、無事終わりホッとしていたようです。進行役の私たちも無事終わり、安心しました。17回生の新幹事を迎え、ますます同窓会が活性化することでしょう。

(清野菜津江)

平成26年度 同窓会総会報告



「同窓会を手伝ってもらえないか？」と先輩からお声をかけていただいていたからもう5年くらいになるでしょうか。それからずっと総会班に在籍しています。同窓会会員の皆さんへの活動報告やこれからの同窓会の方向性を決めていくための総会の重要性を認識しながらも、マンパワー不足でなかなか思うように活動が進まず総会の開催そのものを中止せざるを得ない年もありました。そのようななかで、昨年度2年ぶりの総会開催。

齋藤校長先生の後押しもあり、平成25年9月15日、TKPガーデンシティにて宮城野高校同窓会初めての校外での開催となりました。開催直前は台風による悪天候で・・・と不安もありましたが、16回生等若い回生を中心にご参加いただき、平成26年度の事業計画や予算、名簿管理の外部委託について無事承認をいただきました。懇親会からは開校当初を知る1回生や2回生の先輩方も合流し、母校の思い出話を肴にしながら、今後の同窓会運営についても温かい励ましの言葉をいただきました。

案内状送付のトラブルもあり課題は沢山残ってしまいました。が、同窓会のホームページやfacebookなどの活用にも

も積極的に取り組んだ年でもありました。

昨年度の名簿の外部委託の承認を受け、今年度からは名簿の再整備も兼ねて皆さんの手元に無事案内状をお届けすることが出来ました。総務部の藤原先生、下村先生にご協力いただき今年度は10月11日にホテル白萩にて総会、及び懇親会を開催いたしました。当日は3連休の初日ながら、当初の予定を上回り1回生から17回生まで、先生方も含め50名近い参加があり、今年度も事業報告及び決算、事業計画及び予算案等、全ての議題で承認をいただきました。当日は不手際もあったかとは思いますが、スムーズな会の進行にご協力いただきましたことに改めてお礼を申し上げます。(ホームページでも当日の資料を掲載しておりますので、当日ご参加いただけなかった皆様もぜひご確認ください。)

議事の中で庄司会長が触れていましたが、今まで同窓会活動では在仙の大学生に頼らざるを得ず、なかなかメンバーが固定しないという問題を抱えていました。今年度から1回生、2回生の先輩方にも執行部に加わっていただくことになりましたが、

今回の総会ではほとんどの回生に参加いただき、これからの宮城野高校同窓会が世代を超え同じ学び舎を巣立った者同士、きつと活発なものになると感じました。

私自身、来年度の総会が今からとても楽しみです。総会と聞くと堅苦しいイメージを持たれるかもしれませんが、まずはお友達を誘ってお気軽にご参加下さい。会場でお待ちしています!!

(宮下陽菜)



同窓会名簿管理の 業者委託について

平成26年3月現在、生徒卒業生(第17回生まで)数が4,673人、離任職員約200人、合わせて同窓生会員数約5,000人弱となりました。これまで同窓生の名簿管理は役員幹事が行っていました。が、すでに1個人のボランティアで対応できる数をはるかに越えています。また、この数の個人情報をも一人の人に背負わせるわけにはいきません。そこで、平成25年度の総会において同窓会名簿管理を業者に委託することを確認し、平成26年7月31日に委託契約を行いましたので報告いたします。

委託業者

株式会社 旭出版(本社:熊本県)
仙台支店 仙台市宮城野区宮千代2-1-2

委託料 年間50,000円

委託期間 平成26年8月1日〜

平成27年7月31日(1年更新)

委託内容

- ・新規卒業生および転入職員データの追加を行う。
- ・氏名、住所等の変更に対応する。
- ・同窓会事務局からのデータ閲覧やデータ提供に応じる。(別料金)

(主たること)

なお、「名簿管理」とは新規や変更に対するデータの更新変更管理だけです。「名簿冊子」を作ることはありません。そのような場合にはまたあらためて全員に確認をすることになります。当面は、事務局が総会案内や会誌を郵送する際に使用いたします。また、個別に「第何回生の名簿がほしい」などというときは事務局(学校)にお問い合わせください。

平成26年度 同窓会懇親会報告



総会に引き続き開催された懇親会には、50名を超える同窓生と、齋藤公子校長先生はじめ宮城野高校の現職員の先生方が集まりました。

参与である校長先生のご挨拶に続き、1回生の吉田友香さんの乾杯の発声で始まった会では、各テーブルにて徐々に再会した同じ回生の輪が自然とでき、近況報告や思い出話に花が咲いていました。

余興では、参加した同窓生が回生毎に前へ集合し、代表者が自己紹介や他己紹介を行いました。人数が多かった11回生や1回生の挨拶では、前に集まった同窓生の和やかな雰囲気から、久々の同級生との再会や先生方との出会いを楽しんでいる様子が伝わってきました。また、今回は一人だけだった回生の挨拶では、思い切って参加してよかった、学生時代は接することのなかった離れた回生と出合いつながることができた、このぎっかけをビジネスでも活かしたい、というような声もありました。

同窓会企画で用意した、20年間の文化祭・体育祭などの写真を集めたスライドショーでは、自分たちの頃の写りが出て「懐かしい」と沸いたり、各回生の

特徴的な写真に感心したり、在校時を懐かしく思い出しながらスライドに見入る様子が見られました。

最後に、参加者全員で校歌を合唱しました。総会に引き続き2回目ということもあり(笑)、見事なハーモニーが会場に広がり懇親会の終わりを彩る一場面となりました。

正式に開催案内を出したのが数年ぶりであったため、久々に参加した同窓生や、初めて参加した同窓生も多い今回でした。2次会で終電まで盛り上がった参加者もいたということで、それぞれが会を楽しまれ、また次も参加したいと感じていたのではと思います。

次回も総会と共に開催予定です。今回参加できなかった方も、しばらく同窓会なんて行っていないという方も、来てみると懐かしい人との再会や新たな出合いがある場です。そして参加した方は、今回よりも賑やかな会となるよう、周りの同窓生や、久々に連絡を取りたい同窓生を誘って連れてきていただければと思います。

(笹川直子)



美術科による被災地での展示会

「復興へ！高校生が架ける虹のアートプロジェクト」

在校生の活動として「復興へ！高校生が架ける虹のアートプロジェクト」について取り上げたいと思います。

東日本大震災により特に沿岸部では津波による甚大な被害を受けました。多くの方々が住み慣れた家を失い、仮設住宅をはじめとして、大変不自由な生活を強いられています。実際に仮設住宅を訪問してみると、同じ作りの狭い部屋に少しでも自分らしい生活を取り戻そうと精一杯の工夫をされている方々を目にします。観葉植物を育て緑や赤などの彩りを楽しめられたり、玄関先にタペストリーの暖簾を利用されたりするなど、何かしらの色に対する思いが多いことに気付かされます。大震災前に生活されていた地域が、海岸沿いの美しい自然の彩りに囲まれていた事を思うと、ごく自然



な気持ちであると感ずることができません。

そこで、宮城野高校美術科は普段から美術に取り組んでいる者として他校と共同で、被災地での作品展示を企画しました。想像力あふれる高校生と共に被災された一人でも多くの方々に美術を通じた心の癒しをお届けしたい、生活のなかに彩りをお届けしたいという気持ちがこのプロジェクトのきっかけでした。

当日、展示会にきてくれた方の中には生徒の描いた絵を見てなにかを感じ取り、思い出すという人も多くいました。ある犬の絵を見て、震災時の自分のペットのお話をしてくださる方もいました。ある猫の絵を見て自分の飼っていたペットを思い出して、その絵を貰うために展示前から来てくださる方もいました。こうして被災地でのこのプロジェクトは多くの方々喜んでいただくことができたようです。

このプロジェクトは、最初は宮城県宮城野高等学校美術科、東北生活文化大学高等学校美術・デザイン科、京都市立銅駝美術工芸高等学校が取り組んだものでした。そこから、徐々に活動に協力してくれる高校が増え、現在では宮城県仙台一華中学校・高等学校美術部、西山学院高等学校、八戸工業大学第二高等学校、北海道おといねっ



ぶ美術工芸高等学校もこの活動に携わっています。

仮設住宅の生活の中に彩りをお届けする、という理念のもとにこのプロジェクトを立ち上げ活動してきました。仮設住宅の全てがなくなるというのにはさらに多くの時間がかかります。このプロジェクトは2年、3年、あるいは10年続くかもしれません。仮設住宅がなくなったら終わるといってではなく、これまでの活動で生まれた繋がり、それは仮設住宅の方々だけではなく、高校間の繋がりといたったものも大事にしながらまだまだ続けていこうと考えているようです。同窓会としても、このような在校生の活動を支援したいと思います。



2014.3.25~3.30 場所：メリラボ

同窓会で活動を支援した「めがさけ展」について紹介します。

めがさけ展は「花々の芽が咲く」が由来です。美術科15回生7人で絵画や立体、金工などの作品を展示しました。学科間交流と外部への宮城野高校美術科の宣伝、在校生への進路に対するヒントが企画した動機であり、会期中は天候に恵まれなかったものの多くの方に足を運んでいただきました。またこうした展覧会で、外部や同学科へだけではなく普通科や総合学科の在校生、卒業生の方々にも美術科の魅力が伝わってくればなとも思っております。

宮城野、ここでは一人一人が輝きます。これは卒業後も言えることです、卒業後も輝けるように同窓会にもご支援いただければと思います。



生徒企画行事20年の軌跡

宮城野高校を語る上で外すことができないものといえば、体育祭と文化祭である。宮城野の二大行事と言っても良いだろう。例年、体育祭ボランティア通称体ボラ（球技大会時代は球ボラ）、文化祭ボランティア通称文ボラ、それぞれが粉骨砕身企画・運営にあたっている。

準備期間中は校内のあちらこちらで「お疲れ様です」という挨拶が飛び交い、HR代表者は代表者会議に狩り出される。趣向を凝らしたコスチュームを身にまといながらも白熱する試合、有志団体のステージパフォーマンスや模擬店に賑わう校内：宮城野生ならば誰もがあの時の情景をありありと思い出せることだろう。

何もかもゼロの状態から自分たちの手で作り上げた行事には、よりいっそう思い入れが残るものだ。在校生に脈々と受け継がれる自主性が、開校から20年経った今でもそれを支えている。

(安藤雪華子)



年	球技大会・体育祭・体育大会	文化祭	
1995	球技大会 (タイトル無し)	(不開催)	
1996		一祭合祭 -As it is-	
1997		東雲祭	
1998		繚乱祭 ～自分の色で～	
1999		玲瓏祭 ～磨き澄ませその感性～	
2000		宮城野祭2000 ～851人851色～	
2001		青春ストライク ～現実逃避の2日間(球技大会)	感魂爽祭 ～シャカリキ!～
2002		肉体披露祭 青春野郎 ～あたいのクラスがNo.1～	拍手喝祭 ～Rebirth～
2003		ザ・青春争奪戦 ～俺、泣いてないよ、涙が目にしみてんだ～	宮城野煌芽輝祭 ～才色兼備～
2004		天下一武道会 ～ダテにあの世は見てねえぞ～	虹縁祭
2005	あんた、いま、かっこいい	宮城野事変2005	
2006	もう俺にはゴールしか見えねえ	宮城野祭 ～FREEDOM!～	
2007	筋肉記念日	宮城野祭 Stranger's quality.	
2008	メタボが辞書から消える日	やっさいもっさい 宮城野祭	
2009	マッチョにおまかせ ～あの筋肉を唸らせるのはあなた～	ずくだんずん ぶんかさい	
2010	サヨナラ余分3兄弟 in 宮城野	みみみみみみみ みやぎのさい	
2011	あなたの体力あきらめないで!! (体育大会)	ホモ・ルーデンス祭	
2012	体育祭?うん!OK～! いいかんじ～☆ウフフ～! はいばーい!	祭り短し、騒げよ若人	
2013	運動のことは嫌いでも 体育祭のことは嫌いに ならないでください! フライングゲット	入園は無料 思い出はプライスレス	
2014	♪もしかしてただけど～ もしかしてただけど～ キミもアイツも優勝 狙ってるんじゃないの～?	ミヤギノコウコウ 20祭	

最近3年間の卒業年度別大学合格者延べ人数

国公立大学	H25年度 (17回生)	H24年度 (16回生)	H23年度 (15回生)
北海道教育大学			4
弘前大学	1	1	
岩手大学	7	4	3(1)
東北大学	4(2)	7(3)	5
宮城教育大学	6(1)	10(2)	13(4)
秋田大学	3(2)	1	2
山形大学	5	19(4)	8(2)
福島大学	4	3(2)	4
新潟大学		3(1)	1
茨城大学		1	2
宇都宮大学			1(1)
埼玉大学	2	2(1)	1
筑波大学		1	3
千葉大学	2		2
東京芸術大学		1(1)	
東京学芸大学	1	1	1
一橋大学		1(1)	
電気通信大学		1(1)	
横浜国立大学		1	1
群馬大学		1	1
信州大学	1(1)		
富山大学		1(1)	1
金沢大学			1(1)
徳島大学			1
国立大学合計	36(6)	59(17)	55(9)
創価大学		1	
札幌公立大学			1
青森県立保健大学			1
秋田公立美術大学	1(1)	3(1)	
岩手県立大学	1	1	3
宮城大学	16	12(1)	13(3)
国際教養大学			1
秋田県立大学	2(1)	1(1)	
秋田公立美術大学	2		
山形保健医療大学			1
新潟県立大学	3(1)		
首都大学東京	1(1)		2
横浜国立大学		1	1
群馬県立女子大学	1	1	1
高崎経済大学	1	1	1(1)
神奈川保健福祉大学			1
都留文科大	1	1	
静岡文化芸術大学	1		
静岡県立大学	2	1	
長岡造形大学	6		
愛媛医療技術大学	1(1)		
富山県立大学		1	
滋賀県立大学			1
大阪府立大学		1	
尾道市立大学		1	1
福岡県立大学			1
長崎県立大学			1
公立大学合計	40(5)	26(3)	28(4)

() 数は既卒生徒

私立大学	H25年度 (17回生)	H24年度 (16回生)	H23年度 (15回生)
岩手医科大学	2	1	1
東北学院大学	95(5)	73(4)	100(11)
東北福祉大学	29	32(6)	36(2)
東北薬科大学	10	8	8(1)
東北芸術工科大学	19	25	22
青山学院大学		1(1)	2
学習院大学	2(2)		1
共立女子大学		3	
慶応大学		2(1)	3(2)
国際学院大学		1(1)	
国際基督教大学			3(2)
駒澤大学	8(8)	3(2)	
上智大学			2(2)
昭和女子大学	2	1	
成蹊大学	3(2)	1	1
成城大学	1	1	2(2)
専修大学	6(4)	7(1)	2(1)
大東文化大学	1		
玉川大学	1	1	
多摩美術大学	2	1(1)	2
中央大学	4(3)	8(2)	13(10)
津田塾大学			1
東京女子大学			1(1)
東京理科大学	3(2)	3(3)	2(2)
東京造形大学	2	1	2
東京工芸大学	3		1
東京工科大学	4		
文星芸術大学	1	1	
獨協大学	5	5	2(1)
日本女子大学			2(2)
日本大学	11(3)	14(5)	11(4)
フェリス女子大学		1	
女子美術大学	1	1	2
文教大学	1	3(2)	
法政大学	3(1)	6(2)	3(2)
武蔵野美術大学		1(1)	2
明治学院大学	1	3(3)	5(4)
明治大学	4(3)	14(3)	4(4)
立教大学	2(1)	2	6(2)
早稲田大学	2	2	4(3)
大阪芸術大学	1	2	
南山大学	3		
京都造形芸術大学	1	2	1
同志社大学	1	1(1)	1(1)
龍谷大学	1	1	
立命館大学	1(1)	4(4)	2(1)
倉敷芸術科学大学	1		
その他私大	147(45)	136(19)	132(12)
私立大学合計	384(80)	370(62)	382(72)

同窓生の声

成人を迎えた宮城野 20年の変化とこれから

1 回生 柴田 康博

皆さんには周知の事実であると思うが、私たち母校は昨年開校20年目を迎えた。

20年という個人的に思い出すが、20年前の阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件などの一連のオウム真理教関連の報道、野茂英雄のメジャー挑戦(当時MLBオールスターゲームを学校の視聴覚室で見たので妙に覚えていた(笑))など…。また、この文章を書いているのが、かつての成人の日である1月15日ということもあり、20歳の成人、というのが強くイメージされる。

20年という月日は様々な変化を感じるには十分すぎるほどの時間で、卒業当時は同窓会関連には全く関わっていなかった自分が、ひょんなことから様々なご縁が重なって副会長を拝命することになってしまい、再び学

校を訪れる機会も増えた。入学

当時は田んぼの真ん中に住宅もまばらだった学校の周辺も、今では立派な住宅地となり、大きな道路も出来ている。そんな中でも変わらず建ち続けている白

亜の校舎を見るたびに、変化の中でも変わらずに戻って来られる場所があるということの大切さ、そして同窓会という組織が、将来的には安定した運営基盤と

なり、同窓生にとつての「心の宿り」になることができればよいのかな、と感じる次第である。

私事ながら2015年が始まって間もなく、娘が誕生、新しい家族も増えた。丸20年が経過し、そして21年目を迎える2015年。次の20年はどのような姿に変化し、何が生み出されていくのか?これからの20年がいろいろと楽しみな今日この頃である。

新役員になって

1 回生 吉田 友香

私は現在、石巻市の中学校で保健体育の教員をしています。

学校は震災の津波被害が大きく、

しばらくは間借り・仮設生活で

したが、今年度から本校舎に戻ることができました。県内外からのたくさんの支援に感謝しながら、日々生徒と共に充実した日々を送っています。

今回役員になったのは、藤原先生からお話を頂いたことがきっかけでした。卒業当初は、幹事として何度か打合せに参加

しましたが、その後フェードアウトしてしまったことを後ろめたく思う気持ちがあったのは確かでした。改めて、懺悔の機会

を与えるべく、「そろそろ仕事をしないか。」と声をかけて下さった先生に感謝しています。また、役員とは言い、今のところ何も役に立っていないのも事実。宮城野高校同窓会をより盛り上げるために、少しでも力になれればと思っています。

同窓生の社会での活躍を知ること、同窓生同士の繋がりを広げるきっかけになるはずです。そういう機会を提供するために尽力したいと考えています。一回生の私たちから、同窓会を盛り上げていきましょう。これからご協力よろしくお願ひします。

Title Image Artchist

佐藤博美 : Hiromi Sato



プロフィール

宮城野高校美術科2011年卒(14回生)。
武蔵野美術大学デザイン情報学科2015年卒業見込。
大学の卒業制作ではデザイン情報学科賞と手羽ちゃん卒業大賞を受賞。
YOUTUBE「メイガス オレたちのキョショー」で検索!
卒制展には宮城野高校の同級生や後輩も足を運んでくれた。

表紙へ込めた思い

表紙絵は仙台の景色を高校時代の携帯で撮影したのから制作。
憧れてた先輩たちも、同級生も、後輩も、みんな楽しい方向に進んでるだろうな～
と思いながら作りました。

Staff 募集!

同窓会は「たんぼ」の編集に限らず慢性的に活動人員が不足しています。同窓会では一緒に同窓会活動を行っていただけるStaffを募集しています。興味ご関心のある方は同窓会事務局までご一報ください。一緒に宮城野高校同窓会を充実させていきましょう!

Tampopo Project 2015-2016 -the show must go on-

たんぼチームは会報誌発行のため、たんぼに記事を提供していただける方や団体、ご意見ご感想を募集しています。また、同窓会では同窓生の活動の支援を行っています。ご連絡をお待ちしています!

次期総会・懇親会のお知らせ

平成27年度の同窓会総会・懇親会は9月5日(土)を予定しています。詳細はハガキにてご案内します。

住所変更等の連絡のお願い

同窓会では安定してご案内を同窓生へお届けするために刊行物等は実家住所へ送付することを基本方針としていますが、宛先不明により同窓会からの案内をお届けできない事象が多発しています。実家の転居、結婚や独立などにより拠点となる住所に大きな変更が生じた際には、総会の案内ハガキか同窓会のWebサイトから確実にご連絡を頂きますようご協力をお願いいたします。

たんぼ 14号 2015.2.28発行 6000部

約1/4の同窓生の皆さんははじめまして!同窓会誌「たんぼ」です。5年ぶりの発行となった今回のたんぼはいかがでしたでしょうか?今年度ようやく会報が発行できるほどに同窓会の体制が整ってきました。今後も発行が継続できるよう同窓会活動の充実を目指していきます。応援よろしくお願ひいたします!

Tampopo Project Team 編集: 佐藤詔太 (10) 庄司 諒 (10)

別紙1

平成25年度 宮城県宮城野高等学校同窓会 決算書 (平成25年8月～平成26年7月)
(単位:円)

1. 収入内訳

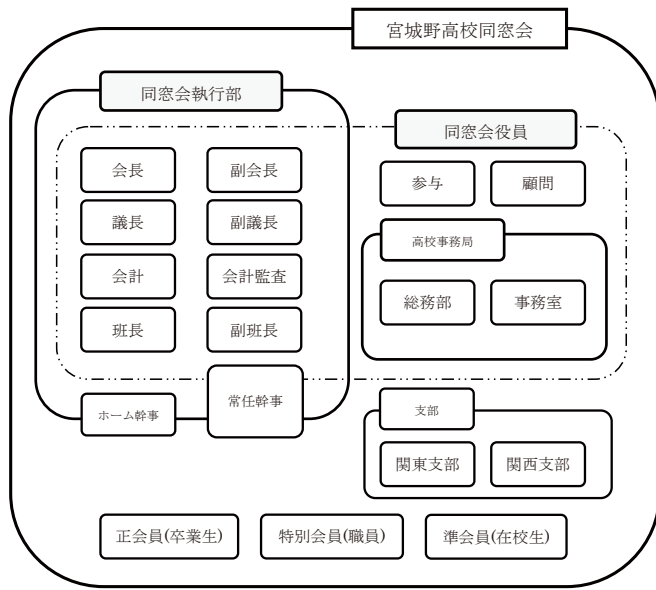
項 目	予 算 額	決 算 額	増	減	摘 要
会 費	1,512,000	939,600		572,400	1800円×522名
繰 越 金	3,299,906	3,299,906			前年度繰越金
雑 収 入	0	85,000	85,000		総会懇親会参加費
合 計	4,811,906	4,324,506	85,000	572,400	

2. 支出内訳

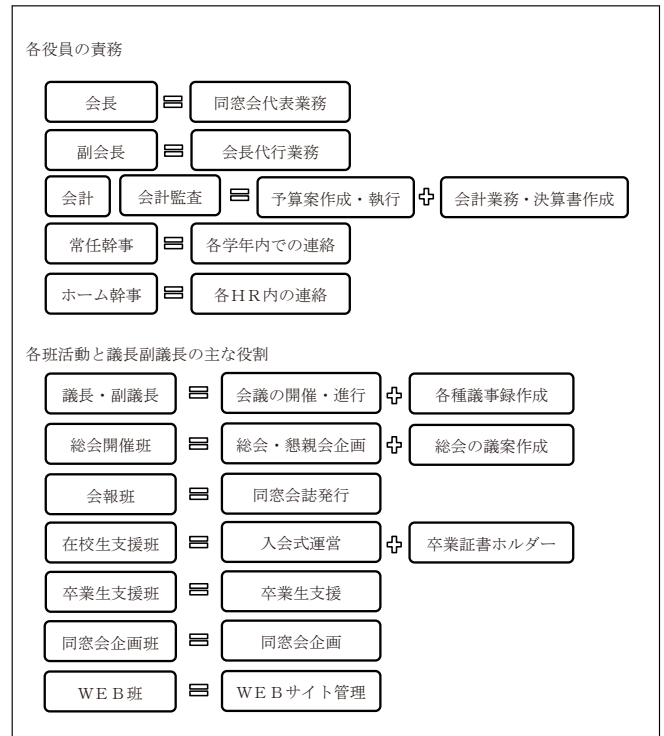
項 目	予 算 額	決 算 額	増	減	摘 要
1. 総 務 費	560,000	13,636		546,364	
(1) 会 議 費	100,000	0		100,000	
(2) 旅 費	100,000	11,564		88,436	幹事会交通費
(3) 需 用 費	300,000	1,492		298,508	印刷用消耗品等
(5) 慶 弔 費	50,000	580		49,420	会員逝去に伴う弔電代
(6) 雑 費	10,000	0		10,000	
2. 事 業 費	2,000,000	441,675		1,558,325	
(1) 総会・懇談会費	550,000	104,340		445,660	会場使用料・総会案内印刷・はがき
(2) 会 報 発 行 費	550,000	0		550,000	
(3) 在 校 生 支 援 費	400,000	238,542		161,458	卒業証書ホルダー・同窓会入会式葉
(4) 卒業生企画支援費	200,000	93,478		106,522	「めがさけ展」・「みやぎのビエンナーレ展」・浪人激励会
(5) 同 窓 会 企 画 費	100,000	0		100,000	
(6) W e b サ イ ト 費	100,000	5,315		94,685	レンタルサーバー費用
(7) 支 部 助 成 費	100,000	0		100,000	
(8) 積 立 費	0	0			
3. 予 備 費	2,251,906	0		2,251,906	
(1) 予 備 費	2,251,906	0		2,251,906	
(2) 会報等発送費増加分	0	0			
合 計	4,811,906	455,311		4,356,595	

別紙2

宮城野高校同窓会組織図



宮城野高校同窓会執行部内訳



同窓会の体制

当同窓会では会長や議長等からなる「執行部」を設け、その中に各事業を企画運営する「班」があります。現在班は6つあり、それぞれが班長を中心に活動を行います。班長は役員ですが、班員はホーム幹事や常任幹事に限らず同窓生全員が対象です。どなたでも同窓会活動に携わることができます。現在は人員の不足により、役職関係なく活動を行っていますが、将来的にはそれぞれの班が自立して活動できることを目標としています。

※各回生のホーム幹事・常任幹事の皆様へ

こちらから連絡が取れなくなっている事象が多数発生している状態です。全くメンバーが分からなくなっている回生もあります。メンバーの把握のためにも事務局にご連絡いただきますようお願いいたします。

平成26年度 宮城野高校同窓会役員・執行部

平成26年度10月11日現在

役職		氏名(卒業年次)			
執行部	会長	庄司 諒(10)			
	副会長	柴田 康博(1)	笹川 直子(1)		
	議長	加藤 咲(15)			
	副議長	吉田 友香(1)	吉澤 和(16)		
	会計	西海 奏(1)	大泉 卓也(10)		
	会計監査	柴田久美子(2)			
	総会開催班	宮下 陽菜(12)	千坂 真史(13)	若松 千秋(15)	
	会報班	佐藤 詔太(10)	川嶋 彩香(14)	近藤菜保子(15)	(阿部琢哉(6))
	在校生支援班	清野菜津江(14)	安藤雪華子(16)	水間 汐海(17)	岡本 莉奈(17)
	卒業生支援班	葛西 佑美(15)			
	同窓会企画班	岩崎 智大(14)	阿部 伊吹(14)	佐藤 有花(15)	
	WEB班	庄司 諒(10)	大場 啓(15)	安住 早紀(15)	
参与	齋藤 公子(現校長)				
宮城野高校事務局	藤原 昇(総務部長)	下村 嘉南(総務部)	山本 香織(事務室長)	伊藤 康子(主任主事)	